

みんなあつまれ、あいりんっ子！

そつぎょうせいのためのクリスマス

とき 12月20日(土)10:30～12:00

ところ あいりんようちえん(ホール)

幼稚園にみんなであつまろう

- ♪ なつかしいページェントを思いだそう
- ♪ クリスマスのうた・讃美歌を歌おう
- ♪ マザーグースのみなさんの歌声を楽しもう
- ♪ 久しぶりに会った友達や先生とおしゃべりしよう

みんなで作るクリスマス会です

楽器を合奏しよう

- ・去年と同じページェントのなかの曲です。ピアノ、リコーダーなどのほか、得意の楽器があれば演奏しましょう。
- ・楽譜がない人は取りにきてください。(遠い人にはお届けの方法を相談しましょう。)
- ・練習と打合せは当日の朝だけです。9時30分からはじめます。
- ・担当は園長、野崎先生です。

ページェントをしよう

- ・幼稚園でしたページェントをやります。
- ・やってみたい役を電話などでお知らせください。こちらから役をお願いすることもあるかもしれません。
- ・練習と打合せは当日の朝だけです。9時30分からはじめます。
- ・担当は矢内先生、仁美先生、吉田先生です。

楽器とページェント両方をするのはむずかしいです。どちらかにしましょう。もちろんどちらもやらなくてもいいから、みんなきてくださいね。

1・2年生のお母さん方へお願い

毎年小学校1・2年生のお母さん方に、お茶等の用意をいただいています。お菓子やその他の品物の用意は幼稚園でいたします。当日のお世話についてお願いします。開会30分前においでいただければ助かります。

*クリスマス会後にお茶とお菓子を用意していますが、アレルギーのある方は、対応が難しいため個々にご準備をお願いいたします。

大きい卒業生のおうちの方へ

お子様が就職・結婚等でご実家から転居されている時には、是非、愛隣幼稚園まで連絡先をお知らせください。(Tel.043-251-6395 担当は進藤先生です)

— 今年の園だよりから —

羊飼いの喜び

2014年12月

愛隣幼稚園の2学期は、あいりんまつりで始まりました。まだ暑い夏の終わりでした。さあ長い2学期が始まったぞ！そんな思いでした。台風と台風の合間の運動会。思いがけない収穫をいただいたミニ運動会。遠足もお天気に恵まれました。神様からいただく秋の豊かな実りを皆で分かち合うこともできました。2学期になって子どもたちは幼稚園中の誰もが仲間と感じ過ごす姿を多く見るようになっていましたが、それはこのX1の期間を通して更に深まっていったように思います。子どもたちの笑顔に、あそびの中に溢れるエネルギーに大きな成長を実感します。さて、そんな2学期もアドベントの時を迎え、クリスマスへと歩みを進めていきます。駆け抜けてきた2学期ですが、子どももおとなもしばし歩みを止め心を静めてこの時を過ごしたいと思います。

今年も初めて本当のクリスマスに出会う子どもたちがいます。その子どもたちと一緒に同じように初めて本当のクリスマスに出会う大人がいます。こうしてまた、クリスマス嬉しいお知らせが愛隣につながる人々に届けられることは大きな喜びです。私もキリスト教に出会うまではイエス様の誕生をお祝いするクリスマスを知りませんでした。クリスマスツリーを飾ることが楽しく、クリスマスソングを歌ってその日を心待ちにしていました。イブの夜にはいつもと違う食事をいただき、サンタクロースからのプレゼントを楽しみに布団に入りました。願いどおりのプレゼントを手にした朝の驚きを覚えています。ワクワクして心が躍るクリスマスは、大好きな行事でした。しかしそのどこにも神様やイエス様の存在はありませんでした。中学生になって初めて本当のクリスマスを知った時にも、「クリスマス、おめでとう！」にピンときませんでした。「サンタさん、プレゼントありがとう！」ならしくりくるのですが、神様の御子、イエス様が生まれたことがどうして嬉しいのか、おめでとうなのか、何故そのことを祝うのか分かりませんでした。あれから40年、毎年毎年、クリスマス物語を聞いてこの時を過ごし、ようやくイエス様の誕生をお祝いするクリスマスの意味が分かるようになりました。

クリスマスに私たちに与えられる大きなプレゼントは“イエスさまがこの世に生まれた！”という出来事です。そのことは“神様が私たちと共にいてくださる”ということの意味しています。2014年前、「神様の子どもが生まれる」という知らせは、一番初めに羊飼いたちに届けられました。日々、過酷な労働に従事していた彼らは、神様から最も遠い存在の人々であると蔑まれ差別を受けてきました。そのことは彼らをして彼ら自身の尊厳をも低くするような扱いであったことが想像されます。自分たちなどは神様を拜むに値しない者、ましてやその恵みや救いに与るなどということは、願っていたかも知れませんが、起こりえないことと思ひこんでいたに違いありません。辛い生活や悲しい想いに寄り添い、その声に耳を傾けようとする者さえありませんでした。しかし神様はその羊飼いを選んで、このビッグニュースを誰よりも先にお届けになったのです。そのメッセージは『私はあなたがたと共にいる』というものでした。このニュースは羊飼いたちに希望をもたらしました。彼らは大きな喜びに満たされました。『今日、私たちのために神様の御子、イエス・キリストが生まれた！神様が私たちと共にいてくださる！』これに勝る喜びはありませんでした。

私たちは本当のクリスマスの出来事に会いました。私たちにもこの羊飼いたちに届けられたビッグニュースが届けられています。幸せの中にある時、全てがうまくいっている時、私たちは神様が守ってくださっていると素直に感謝の言葉を口にします。しかし私たちの神様は、今日、私が悲しみの中にある時、ひとりぼっちだと孤独な思いに押しつぶされそうな時、必ずそばにいてくださるのです。『私はあなたと共にいる』。この出来事こそが、クリスマスです。

卒業生のための園だより

君たちは未来を生きる

さあ、そろそろ「卒業生のための園だより」を書き始めなければと思っていた週末、長野県北部を中心にまた大きな地震が起ってしまいました。2011年3月の大地震は地面の奥の方に大きな歪みを作り、その歪みがまた地面を跳ね返すという動きを繰り返しているようです。こればかりはどんなに私たちが知恵や力を合わせても、止めようがありません。人類がこの世に出現するずっとずっと前から繰り返されてきたこのような大地の動きが、あのエベレスト（高さ8,848m）になり、マリアナ海溝（深さ10,911m）をつくっているのですから・・・。

そう「3.11」のあの日、私たちは巨大な自然のエネルギーには太刀打ちできませんでした。更にこれが引き金となり制御不能なエネルギー（原子力）までもが暴走し大きな被害を受けました。私たちおとなはこのままでは子どもたちに幸せな未来を約束できないと考え、この地球と共存する方法、子どもたちに幸せな未来を約束できる方法を考え始めました。（私自身には高度な能力はないので、考えてくれる人たちに応援し、自分にできることを考えています。）地震が起きることを予測して事前に知らせるということが、日常のことになりつつあります。確実ではなくても、身構えることで危険から遠ざかることが少し可能になりました。津波を起こさない技術の開発は無理なので、津波に強い街づくりを考えることにしました。避難の方法も考えました。実際に練習もしています。大きな大きな防波堤も作ろうと考えています。電気も自然エネルギーを利用した発電方法に切り替えられないかと考えています。太陽光パネルもあちこちで見かけるようになりました。そうです、あの原子力発電のことは、どうしても考えなければならない重要な問題になりました。私たちの生活に＜電気＞はなくてはならないものですが、原子力発電所で事故が起きれば、大量の放射能が地上に降り注ぎ、農家の皆さんが丹精込めて作った作物は食べることができなくなります。福島県の子どもたちは外で遊ぶことができなくなりました。一生懸命汚染された土を取り除いて、安全な場所に戻したいと頑張っていますが、雨が降り風が吹けば山からまたたくさんの放射能が下りてきてしまうそうです。そして危険な場所として人が住むこともできないところになってしまった土地は、今もそのままです。更に、発電所という物はやがて古くなって使えなくなるのですが、この発電所はただ壊して作りかえれば良いというものではありません。危険な放射能がばらまかれることになるからです。だからとんでもない時間と人々の知恵と力と莫大なお金を投じて安全に封じこめなければならないのです。イギリスではひとつの発電所の廃炉作業の完了には90年かかり900億円が必要と試算しています。（国によって数字には差があります。）そして驚いたことに福島原子力発電所ではこの事故後の作業に既に9579億円を使っているのだそうです。この発電所が日本には今17ヶ所あります。このままこれを使うことになれば、もう一度大地震が起きた時や、これが使えなくなって壊す時の心配やお金の問題はみんな今の子どもたちにお任せすることになりそうです。無責任な話です。原発の問題に限った話ではありません。今のおとなたちはもう一度よく考えて子どもたちに幸せな未来を約束できる日本を考えなければなりません。そして君たちにもお願いしたいと思います。未来を生きるのは君たちですから、日本中の人、世界中の人みんなが幸せになるためにはどうしたらいいかということ、ひとり一人が考えてほしいのです。おとな任せにはできません。これからの日本のことを決めていくのは君たちです。

あいりん、この1ねん

2014. 3月 第59回卒業式

うみ組40名が愛隣幼稚園を卒業しました。楽しいこと、おもしろいことをいっぱい考えて毎日を過ごしました。うみ組のみんなを仲間と感じ、幼稚園中のみんなも仲間と感じて愛隣を巣立ってってくれたことと思っています。いつでも遊びに来てくれたら嬉しいです。小学校の話も聞かせてくださいね。

うみ組の2人の先生のこともご報告します。まず、田尻先生ですが、この3月をもって退職されました。愛隣でのお働きは24年間。たくさんの卒業生を送りだされました。永年のお働きに感謝です。現在は乳児院にお勤めです。幼稚園にも時々遊びにきてくれます。もう一人、加瀬礼奈先生が御結婚されて、尾形先生になりました。おめでとうございます！そんなわけで寂しいことと嬉しいことがあった3月でした。

2014. 4月

幼稚園の新しい1年が始まりました。

大きい組は「ゆめ」組になりました。吉田先生・矢内先生・小筆先生(新任)が担任です。ばら組は宮越先生、田久保先生、野田先生が担任、たんぽぽ組は鈴木仁美先生、尾形先生(加瀬)、大嶋先生が担任、ただいまルームは岡田先生、つぼみ組は山中先生、西尾先生、他のスタッフは変わらずという職員体制でスタートしました。

あっ、そうでした！理事長先生(園長かいじゅうのことです)が植草学園大学を退職され、毎週火木金の午前中は幼稚園にいらっしゃるようになりました。会いたいなあと思ったら、この時間を狙って幼稚園にきてください。

新任の先生をご紹介します。

ゆめ組の小筆啓太先生は短大を卒業したての先生です。「啓太」ですからもちろん男性です。今年の大きい組は男の先生が2人と麻友先生のクラスになりました。どんなことになるやらちょっと楽しみな4月でした。

さて全園児96名、今年も神様に守られて、子どもたちと大人たちとみんなで力を合わせて楽しい1年にしたいと思います。

2013. 10月

今年の運動会にもたくさんの卒業生が遊びにきてくれました。卒業生の出場種目『いつまでも愛隣っ子』にも小1の仲間から園長かいじゅうまで参加者多数！今年の優勝者はうみ組の神山直輝君、2位はなかれまし組の古角聡太郎君、3位はまし組の鈴木史穂さんでした。豪華？な賞品が用意されていますから、来年も皆さん奮ってご参加ください。

「子育て相談室」開設

4月から「子育て相談室」を開設しました。対象は在園児以外の子どもの保護者あるいはその養育に携わる人です。担当は木下勝世理事長です。毎週火木金の午前中に開設していますので、利用される場合には事前の予約をお願いします。子育てに悩みはつきものです。お気軽にご利用いただければと思います。また、ご近所の方にもご案内ください。

2014. 7月

ゆめ組の合宿はくゆめ島の仲間たちと1日大冒険>というテーマでのお泊り保育となりました。ホールに作った船に乗っていろいろな所へ冒険に出かけました。バスを船に見立てて昭和の森へ冒険に出かけ、ゆめ島に戻ってバーベキュー。テラスのうみ温泉につかり、はっぴージャングルレストランでバイキング。夜は森のパーティーでダンスダンス！きらきら島ホテルに泊まりました。今年は念願のエアコンが大きい組に設置されたので快適な睡眠もお約束という合宿でした。みんなの合宿、思い出したかな？

9月30日 礼奈先生に女の子が誕生！みさとちゃんです。それで9月からたんぽぽ組には野崎奈々子先生が復帰しています。

愛隣の庭は大豊作でした

畑のじゃがいも、さつまいも、びわも柿もみかんも今年は大豊作でした。びわはくろーばー組、みかんはちきゅう組からのプレゼントです。ありがとう！